2023 年 7 月 18 日

ビジネスコンプライアンス検定 初級 問題集 正誤表

ページ番号	問題番号	正誤内容	
P.18	第 26 回 問題 36	誤	ウ．取締役は、公益通報者保護法による保護を受けない。
		正	ウ．取締役は、公益通報者保護法による保護を受ける。
P.32	第 26 回 問題 36 解説	誤	ウ：適切。公益通報者は、労働者でなければならず、取締役は含まれない。公益通報者保護法における労働者は、労働基準法第９条に規定する「労働者」と同じであり、正社員だけではなく、派遣労働者なども含まれる（２条１項）。
		正	ウ：適切。公益通報者は、「労働者・退職者・役員」でなければならず、「役員」には法人の取締役、執行役、会計参与、監査役、理事、監事及び清算人のほか、法令の規定に基づき法人の経営に従事している者（会計監査人を除く）が含まれる。
P.51	第 27 回 問題 36	誤	ア．公益通報者保護法で保護される「労働者」には、取締役も含まれる。
		正	ア．公益通報者保護法で保護される「役員」に、取締役は含まれない。
P.63	第 27 回 問題 36 解説	誤	ア：不適切。公益通報者保護法で保護される「労働者」は労働基準法第９条の「労働者」と同じ意味であると理解されており、正社員のほか、契約社員、パート、派遣労働者も含まれるが、取締役は含まれない（２条１項）。
		正	ア：不適切。公益通報者保護法で保護される「役員」には法人の取締役、執行役、会計参与、監査役、理事、監事及び清算人のほか、法令の規定に基づき法人の経営に従事している者（会計監査人を除く）が含まれる。